

大会特別規程及び注意事項

令和8年度山口県中学校新人体育大会（軟式野球）

〔試合方法〕

- 1 トーナメント方式とする。
- 2 1試合7回とする。それでも勝負が決しないときには、タイブレークを行う。5回以降7点差が生じた場合、コールドゲームとする。

大会1日目の試合は時間制限を設ける。（100分を超えて新しいイニングに入らない）ただし、7回裏終了時、もしくは100分を超える時点で同点の場合、タイブレークに入る。その際は勝敗が決するまで試合を行う。

大会2日目からは時間制限を設けない。

《タイブレーク》

継続打順で、前回の最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁走者とする。すなわち、無死1・2塁の状態にして1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。勝敗が決しない場合は、さらに継続打順で得点差が生じるまでこれを繰り返す。なお、規定によって認められる選手の交代は許される。

- 3 **2会場（山口マツダ西京きずなスタジアム、山口市スポーツの森第2球場）での実施とする。①8：30、②10：30、③12：30、④14：30を試合開始の基準とする。第1試合の開場は7：00とする。**

〔特別規則〕

- 1 監督又は引率教員は、試合開始予定時刻の1時間前にチームの到着を大会本部（会場責任者）に報告する。
- 2 次試合の主将は前試合の4回終了時に打順表5部を本部（会場別）に提出すること。その際攻守を決定する。この時、部長又は監督が立ち会うこと。**第1試合については8：10より行う。**
- 3 組み合わせの若番が一塁側とする。ただし、決勝戦のベンチについては、組み合わせ順に関係なく、準決勝で使っていたベンチを使用する。
- 4 場内における打撃練習は行えない。1対1のトスバッティング（ペッパー）のみ可。
- 5 試合前のシートノックについては実施しない。
- 6 降雨、日没などの天候状態によるコールドゲームは5回以降の得点をもって勝敗を決定するが、試合が規定により不成立の場合、または同得点の場合は翌日特別継続試合かまたは再試合にするかなど審判員と大会本部で協議して決定する。（原則は特別継続試合）
- 7 試合の進行上予定の時刻より早く終了した場合は、支障のない限り引き続いて次の試合を行うものとする。**試合終了25分後整列を基本とする。決勝戦については、準決勝終了（遅い方）60分後整列とする。**
- 8 会場によっては特別グラウンドルールをつくる。
- 9 特記なき事項については、中国中学校体育連盟野球部「大会運営に関する取り決め事項」及び「用具・装具規定」、監督者会議及び軟式野球専門部の申し合わせ事項に従うこと。

〔注意事項〕

- 1 ・選手は、同一のユニホームを着用し、背番号は1～18とする。
 - ・監督、コーチも同一のユニホームを着用する。監督は背番号30をつけ、コーチは背番号29、28をつける。
 - ・コーチでない者は、ユニフォームは着用せず、平服（ポロシャツ・または白いワイシャツ）に選手と同一の帽子とする。
- 2 ダックアウト（またはベンチ）には本大会の登録メンバー以外は入ってはならない。